

# 人類未踏破ルートで南極点へ

## そり開発、町工場が連携

「人類未踏破のルートで南極点に到達したい」。1人の冒険家の夢に、町工場が立ち上がった。2日、東京都板橋区の会場に真っ赤なそりが姿を現した。上り坂が続くルートで極寒の環境下、100kgの重量に耐える荷積み用のそりは、今回の冒険の命運を分けると言っても過言ではない。日本人未踏破の「スナールート」で南極点到達を目指す、冒険家の阿部雅龍氏は11月9日に出発する。そり完成までの経過を追った。

(大串菜月)

### まず「日本人未踏破」挑戦

到達目標40日間  
間風速100m/sの向かい風の中を、歩き続け、到達目標日数は40日間、所持する食料は50kg、最低気温は30度以下の過酷な環境下で、重さ約100kgの荷物を耐えるそりを使用し、3度北極点を訪れている。その傷が激しく、底はすり減り、一部割れ目が入っていた。素材は高硬度素材のナイロンで、衝撃に強い分、耐摩耗性は弱い。主要メカニカル部品は、耐摩耗性が高い樹脂製で、摩擦係数を抑えている。また、重量を軽減するために、樹脂製の部品は、軽量化を図っている。2015年秋、阿部氏は「壊れない・軽い」改良を重ねてきた。当初はチタンを検討したが、コストが高すぎた。最終的に、樹脂製の部品を採用し、軽量化を図った。また、摩擦係数を抑えるために、樹脂製の部品は、軽量化を図っている。2015年秋、阿部氏は「壊れない・軽い」改良を重ねてきた。当初はチタンを検討したが、コストが高すぎた。最終的に、樹脂製の部品を採用し、軽量化を図った。また、摩擦係数を抑えるために、樹脂製の部品は、軽量化を図っている。



阿部氏は「壊れない・軽い」改良を重ねてきた。当初はチタンを検討したが、コストが高すぎた。最終的に、樹脂製の部品を採用し、軽量化を図った。また、摩擦係数を抑えるために、樹脂製の部品は、軽量化を図っている。2015年秋、阿部氏は「壊れない・軽い」改良を重ねてきた。当初はチタンを検討したが、コストが高すぎた。最終的に、樹脂製の部品を採用し、軽量化を図った。また、摩擦係数を抑えるために、樹脂製の部品は、軽量化を図っている。



中小・ベンチャー・中小政策

### 松本精機社長 鈴木敏文氏



「今回多地域にまた、昇社長は長岡市の市会議員で、町づくりの第一歩はどのように集められたのか。また板橋区の中小製造業グループ「06年の板橋区と長岡市の産業防災に関する連携から長岡市の企業と知り合い、声をかけた。広井工機の廣井区内に限定せず、地域に根ざした信頼できる企業と組んだ」

### ぎりぎりまで改善

「構想時点で月1回は東京が長岡でメンバーを交えながら集まった。開発の詳細が決まり、製作が始まったのは6月。それ以降は最低週1回は長岡を中心に集まった」

「阿部氏にもかなり現場に足を運んでもらった。彼自身が秋田大学工学部出身だったこともあり、要望が具体的に聞ける。今回のプロジェクトはこれを実現したもので、有効だと考えている」

「固定した組織はいつか壊れる。化学の立体的な組織に自由な組織にすることで、組織にうまく機能し、お互いでも、みなさんの意見を聞ける。今回のプロジェクトはこれを実現したもので、有効だと考えている」

### 「壊れない・軽い」改良重ねる



南極向け荷物運搬用そり

「壊れない・軽い」改良を重ねる。当初はチタンを検討したが、コストが高すぎた。最終的に、樹脂製の部品を採用し、軽量化を図った。また、摩擦係数を抑えるために、樹脂製の部品は、軽量化を図っている。2015年秋、阿部氏は「壊れない・軽い」改良を重ねてきた。当初はチタンを検討したが、コストが高すぎた。最終的に、樹脂製の部品を採用し、軽量化を図った。また、摩擦係数を抑えるために、樹脂製の部品は、軽量化を図っている。

### 従来の慣習改革

よりそうは定額葬儀サービス「よりそうのお葬式」やお坊さん手配サービス「お坊さん便」など葬儀関連のサービスを手

### 企業

葬儀サービス窓口一元化  
定額で全国のお坊さんを手配する「お坊さん

所在地 東京都2区  
所在地 四反田上高  
品川11の17 設立  
非公認 3月  
09年(平21)

日産産業は宇宙航空研究開発機構(JAXA)のロケット先端部に使用されるセラミック系塗料系熱材料「ガイナ」を提供。その内側や上部を覆うシートに塗布することで、セラミックの遠赤外線

毎月無料でお届け  
製品情報誌  
JIMTOF

日刊工業新聞 電子版にて  
教育用映像ソフト 好評発売中  
金属加工シリーズ  
研削加工  
詳しくはウェブで